



「三島米」の田植えを体験する参加者＝三島市長伏

三島米の田植え体験

GW三島 家族ら25人、野鳥観察も

NPO法人グラウンドワーク(GW)三島は10日、「田植え体験&松毛川野鳥観察」を三島市内で行った。同市や東京都などから家族を中心に25人が参加。「三島米」の田植えと野鳥観察を楽しんだ。

田植えは市立長伏小近くの水田で行い、地元生産者の白井幸太郎さん(中郷用土地改良区理事長)が指導した。水田に入った参加者は、手作業で田植えを体験。およそ1時間の作業に汗を流した。小1、小3のきょうだいは「楽しかった。来年も参加したい」「水が気持ち良かった」、小3男児は「昔の人が頑張っていたのが分かった」と話した。

野鳥観察は、日本野鳥の会の滝道雄さんが講師を務めた。同法人は昨年から、遊休農地を活用した米作りを実施。「三島米」のブランド名で約750キを、運営する「三島街中カフェ」で販売した。今年は水田を増やし、うるち米約1800キ、もち米約500キの販売を見込む。同法人は「昨年11月に『世界かんがい施設遺産』に登録された源兵衛川の水で育てた米を味わってほしい」と話す。